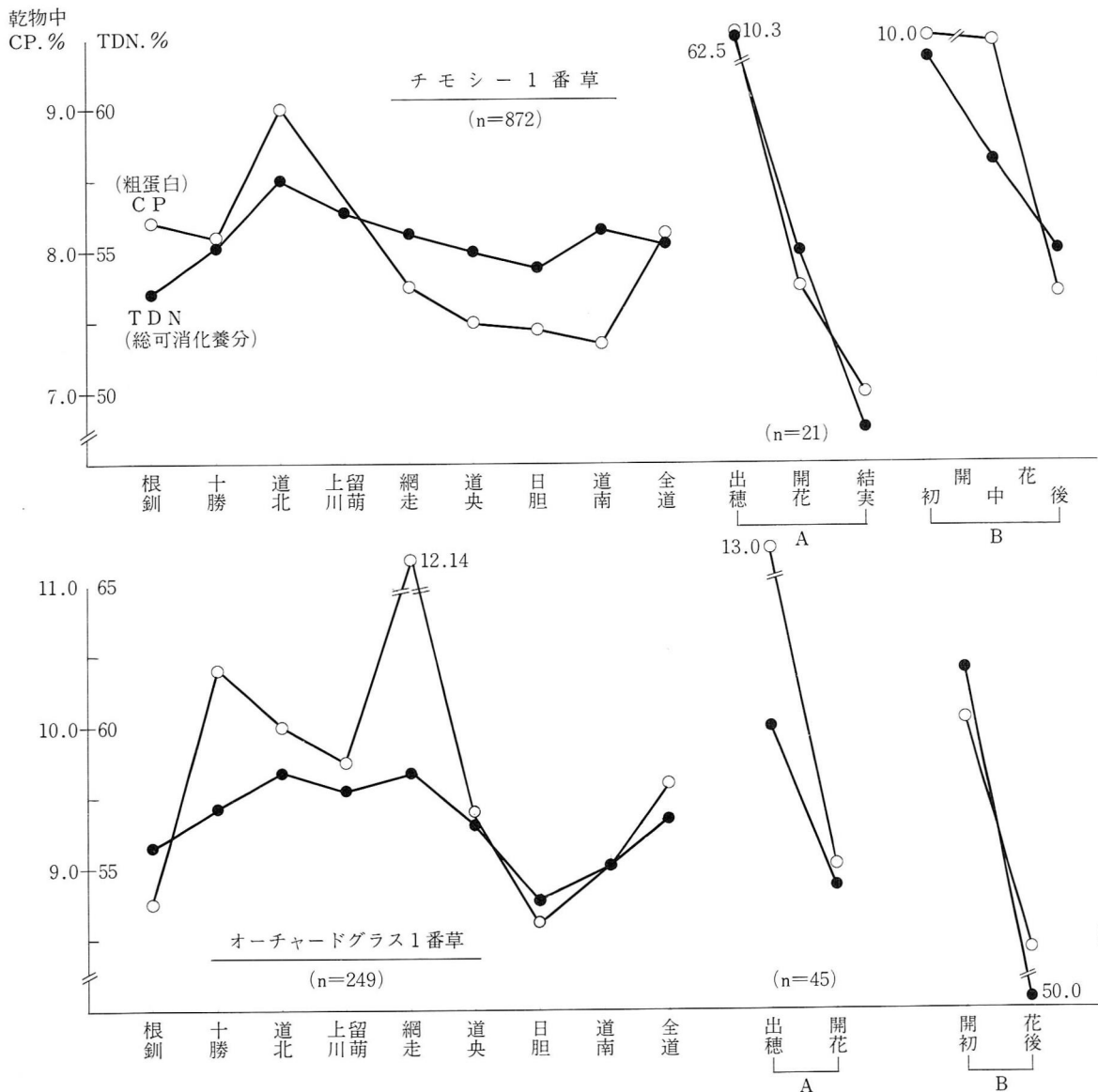


# 牧草と園藝



# 昭和57年産乾草の分析結果 (北海道)

雪印種苗 (株) 中央研究農場



注 A: 日本標準飼料成分表 (1980) による。B: NRC (1978) による。

チモシーでは、全道平均並みかそれ以上の成分的に良質な乾草は、道北、上川・留萌にみられ、道央・日胆では成分が低い傾向にあります。日本標準飼料成分表(以下成分表)に示されている数値との比較から、刈取時期が開花期近くのもののがかなりの数にのぼると考えられ、適期収穫を再検討する必要があります。

オーチャードグラスのサンプルは道南、道央、道北から多く送られて来ましたが、チモシーの場合と同様に、全道平均と比べると、日胆、道南は成分が低く道北は平均以上を示しています。刈取時期については全体的には、チモシーの場合よりもやや早刈の傾向にあるように見受けられます。

全道平均の水分はチモシー16.2、オーチャードグラス16.5%であり、ミネラル含量 (Ca, P) はチモシー、オーチャードグラスいずれも道央、道南で低い傾向でした。